

株式会社サイバー創研
「地域共有型エッジAI実証タイプ」実証事業公募事務局

令和8年度「地域社会DX推進パッケージ事業」のうち
「地域共有型エッジAI実証タイプ」における実証事業の選定結果

- 公募で選定した実証事業の一覧は以下の通りです。

記

実証機関	実証名	提案概要
株式会社国際 電気通信基礎 技術研究所	地域共有型エッジAI を活用した施設案内 サイバネティックアバ ターの低遅延対話 サービス実証	サイバネティックアバター（エッジAIを活用したロボットアバター及びCGアバター）を活用し、AIが定型的な案内を担い、必要時に人が遠隔介入する施設案内サービスの実証を行う。 実証では、①クラウドAI構成、②MEC完結構成、③MEC・クラウド協調構成を比較することで、AI処理の配置及び通信経路が応答遅延・回答品質・利用者の体感品質に及ぼす効果の定量的な検証や導入指針の作成を実施する。
株式会社 NTTドコモ	地域共有型エッジAI を活用した機能簡素 型デバイス利用ユー スケース検証と産業 界でのユースケース 創出に向けた無線性 能検証	地域共有型エッジAIの社会実装の普及には、5G、ローカル5G、Wi-Fiなどの無線アクセス環境の特性・性能をを理解し、実証することが社会実装の広がりにつながる。 本実証では、Local 5G、ミリ波、Wi-Fi等の通信環境をワンストップで構築し、複数のアクセスシステムからエッジAIを利用できる実証環境を構築する。実証の事例としてはウェアラブル端末などの機能簡素型デバイスのAI処理をエッジサーバへオフロードする実証実験を実施する。

以 上